

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

常に、チャレンジ精神と誇りをもってビジネスに取り組み、技術を磨き、生産の効率化を進め、世界中のお客様が心から満足し信頼できるパートナーとして…

売上高営業利益率  
20%台前半

## ② 中長期の経営戦略

## 1. AI・先端デバイス領域の成長

AI及び先端デバイス分野を中心とした高付加価値領域におけるビジネス獲得を積極的に推進。顧客の需要動向を把握しつつ継続的な設備投資を実施

## 3. 日台両拠点の生産体制最適化

地政学リスクへの対応及びサプライチェーン再編への対応を通じ、国内需要の獲得とテスト付加価値サービス提供を強化

## 2. スマートファクトリー化推進

オペレーションの自動化、データ活用、AI技術導入を全社的に進め、生産能力最大化と高品質・高効率な生産環境を構築

## 4. 人材確保・育成強化

エンジニアを中心とした専門人材の確保及び育成を重要課題に位置づけ。教育プログラム拡充と若手エンジニア早期戦力化を推進

## ③ 対処すべき課題

## ① 業績向上

- ・ AI及び先端デバイス分野における高付加価値領域のビジネス獲得
- ・ 需要動向の把握と継続的な設備投資による安定性と柔軟性を兼ね備えた生産体制構築
- ・ 地政学リスク対応とサプライチェーン再編への対応を通じた国内需要の確保

## ② 生産性・品質向上

- ・ スマートファクトリー化によるオペレーション自動化とデータ活用
- ・ 歩留まり改善、リードタイム短縮、設備停止時間低減の実現
- ・ 先端製品・車載分野での信頼性強化と品質保証体制の構築

## ③ 人材確保・育成

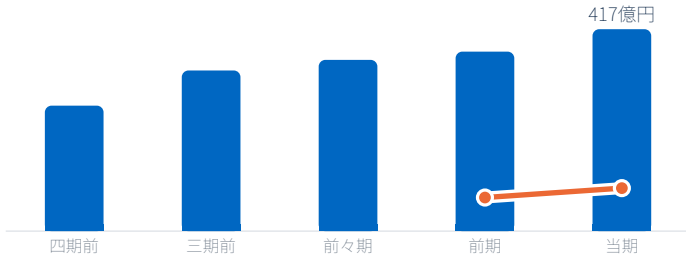
- ・ 半導体業界における人材不足への対応
- ・ 計画的な教育プログラム拡充と若手エンジニアの早期戦力化
- ・ 多様な人材が能力を最大限に発揮できる職場環境整備

## 面接で使えるポイント

- ・ 半導体テストサービスで、生成AI及びデータセンター向けを中心とした高付加価値領域での成長を目指している点
- ・ 日本及び台湾の両拠点から世界中へテストソリューションを提供し、顧客と従業員が成長し続ける会社を目指すビジョン
- ・ スマートファクトリー化とAI技術導入により、生産能力最大化と高品質・高効率な生産環境を同時実現する取り組み

証券コード 6627

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに  
株式会社テラプローブの事業概要

...

主力事業・セグメント

- ・電気機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率21.3%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
417億円営業利益率  
21.3%財務健康度  
52点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
638万円

電気機器内 161位/225社

平均年齢  
41.2歳

電気機器内 172位/225社

平均勤続  
7.9年

電気機器内 208位/225社

女性管理職  
4.2%

電気機器内 118位/182社

男性育休  
42.9%

電気機器内 161位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: (株)テラプローブ【6627】：決算情報

